

平成28年度 第4回校内研  
「数学科」

授業のデザイン

授業者：丘澤慎之介

1 日時 平成29年 1月26日(木) 第3時間目

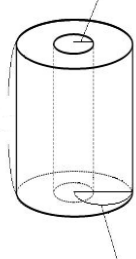

2 学級 1年 4組

3 題材(単元) 立体の体積と表面積

4 本時の授業

(1) 目標 立体の体積や表面積の求め方を理解し、身の回りの問題を解決することができる。

(2) 流れ

生徒の学習活動と主な意識の流れ	支援(◇)と見取りの姿(◎)
<p>① 本時の課題と流れを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">身の回りの物の体積や表面積について考えよう。</div> <p>②基礎の課題に取り組む。(15分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto;"> <p><b>【共有の課題】</b></p> <p>右の図はちくわを見取図に表したものです。ちくわを右の立体として見たときの体積を考えよう。</p>  </div> <p>③ジャンプの課題に取り組む。(30分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto;"> <p><b>【ジャンプの課題】</b></p> <p>プリンを円錐の一部として見たときの体積と表面積を考えよう。</p>  </div> <p>④まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りの物をこれまで学んだ立体として見ることで体積や表面積を求めることができる。</li> </ul>	<p>◎生活に即した問題として興味を持たせられるように写真などで視覚に訴える。</p> <p>◇身近なものをこれまで学んだ立体として考えることによって、体積を求めることにつながることを助言する。</p> <p>◇学び合いが進まないグループに、考えるきっかけとしてヒントを出す。</p> <p>◎自分の考えをもとにお互いに意見を出し合い問題を解決しようとしているか。</p>

(3) 「学び合い」をどこまで生かし深めていくか

- 身の回りにあるものをこれまで学んだ立体として考えることで、問題解決への意欲を高め、その中で、クラスメイトとの交流から様々なものの見方があること感じさせたい。